

経済学部A方式 I 日程・社会学部A方式 I 日程・現代福祉学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～17	日 本 史	18～35
世 界 史	36～53	地 理	54～64
数 学	66～71		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
 - ・解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
 - ・解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
 - ・解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

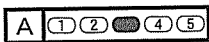
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

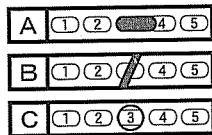
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(日 本 史)

〔I〕 次の文章A, B, Cを読み, 以下の問いに答えよ。

A 仏教は, 6世紀には日本にもたらされたとされる。その後の7世紀前半の飛鳥文化は, 百済や高句麗, そして中国の南北朝時代の文化の影響を多く受け, 当時の西アジア・インド・ギリシアともつながる特徴を持った。寺院建築では, (1) などが建立され, 古墳にかわって豪族の権威を示すものとなった。

飛鳥文化に続く白鳳文化は, 律令国家が形成される時期の文化にあたり, 唐初期の文化の影響を受けている。天武天皇^(a)によって, (2), 大官大寺などがつくられるなど, 仏教興隆は, 国家的に推進され, 地方豪族も競って寺院を建立した。

都が平城京^(b)に遷都された奈良時代には, 仏教は国家の保護を受けてさらに発展していった。特に仏教によって国家の安定をはかるといふ鎮護国家の思想は, この時代の仏教の性格をよく示している。また, この時代には, 宮廷・貴族や寺院の豊かな生活と仏教の発展に支えられた^(c)多くの美術作品や建築物などがつくられた。当時の僧侶は, 最新の文明を身につけた一流の知識人でもあり, 政界で活躍した僧もあった。その一方で, 仏教は, 政府からきびしく統制を受け, 一般に僧侶の活動も寺院内に限られていた。のちに大僧正となる (3) は, 民衆への布教とともに, 用水施設や救済施設をつくる社会事業をおこなった。また, 仏教の政治化をきらい, 大寺院を離れて山林にこもって修行する僧たちが出て, やがて新たな平安仏教の母体となっていった。

問1 文中の (1) と (2) に入るもっとも適切な寺院の組み合わせを、以下のア～カから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|---|-----|
| (1) | | (2) |
| ア 興福寺 | — | 東大寺 |
| イ 四天王寺 | — | 法隆寺 |
| ウ 元興寺 | — | 薬師寺 |
| エ 四天王寺 | — | 薬師寺 |
| オ 元興寺 | — | 東大寺 |
| カ 興福寺 | — | 法隆寺 |

問2 下線部(a)の人物に関連することがらとして誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 中国の都城制にならった藤原京の造営をおこなった。
- イ 律令・国史の編纂や銭貨の鑄造をおこなった。
- ウ 八色の姓を定めて、豪族たちを天皇を中心とした身分秩序に編成した。
- エ 中央の官制や地方行政組織を整備するなど、大化の改新といわれる諸改革を進めた。

問3 下線部(b)に関連する記述として誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 長安にならい、碁盤の目状に東西・南北に走る道路で区画された。
- イ 京と諸国の国府を結ぶために道路を整備し、駅家をおいて中央と地方の連絡に利用した。
- ウ 京には、天皇の生活の場である内裏や政治の中心である諸官庁などがおかれ、新たに東寺・西寺などが建てられた。
- エ 京には、貴族・官人や庶民の住宅が建ち、官営の市が設けられた。

日本史

問4 下線部(c)の美術作品や建築物などの特徴として誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 屋内の調度品には、日本独自に発達をとげた大和絵の手法が多く用いられた。

イ 当時の工芸品には、唐ばかりでなく西アジアや南アジアとの交流を示すものもあった。

ウ 仏像では、原型の上に麻布を幾重にも漆で塗り固め、あとで原型を抜き取る乾漆像の技法が発達した。

エ 建築では、寺院や宮殿に礎石・瓦を用いた壮大な建物が建てられた。

問5 文中の に入るもっとも適切な人物を、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 行基 イ 義淵 ウ 玄昉 エ 鑑真 オ 良弁

B 平安京遷都から9世紀末頃までの文化を、弘仁・貞観文化とよぶ。この時代^(d)は、平安京において貴族を中心とした文化が発展し、宮廷では、漢文学がさかん^(e)になった。

仏教では、新たに伝えられた天台宗・真言宗が広まるとともに、次第に密教がさかんになった。長岡京・平安京の遷都に際し、奈良時代の後半に、仏教が政治に深く介入した弊害もあったことから、 は、南都の大寺院を移転することを認めず、新しい仏教を支持した。

最澄は、比叡山で修学し遣唐使に従って唐に渡り、天台の教えを受けて帰国し、天台宗を開いた。そして、最澄は、新しく独自の大乘戒壇の創設をめざしたが、南都の諸宗から激しい反対をうけ、 を著して反論した。また、空海も入唐し、密教を学んで、高野山に を建てて真言宗を開いた。その後、天台・真言の両宗は、ともに国家・社会の安泰を祈ったが、加持祈禱によって災いをさけ、現世利益を追及するという面から皇室や貴族の支持を集めた。

仏と神は本来同一であるとする神仏習合の風潮は、平安時代に入るとさらに

広まっていった。また、天台宗・真言宗は、在来の山岳信仰とも結びついて修験道の源流となった。天台・真言両宗がさかんになると神秘的な密教芸術が新たに発展した。

問6 下線部(d)の時代に関連する出来事として誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 嵯峨天皇のもとで、弘仁格式が編纂された。
- イ 平安京内の治安維持のために六波羅探題が設けられた。
- ウ 文芸を中心として国家の隆盛をめざす文章経国の思想が広まった。
- エ 班田収授を励行させるため、班田の期間を12年1班にあらためるとともに、雑徭の期間を年間60日から30日に半減させた。

問7 下線部(e)に関連する作品として誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 『文華秀麗集』
- イ 『性霊集』
- ウ 『和漢朗詠集』
- エ 『凌雲集』

問8 文中の (4) に入るもうとも適切な人物を、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 平城天皇
- イ 光仁天皇
- ウ 清和天皇
- エ 桓武天皇

問9 文中の (5) と (6) に入るもっとも適切な著作物と寺院の組み合わせを、以下のア～カから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------|----------|
| (5) | (6) |
| ア 『文鏡秘府論』 | —— 金剛峰寺 |
| イ 『顕戒論』 | —— 教王護国寺 |
| ウ 『経国集』 | —— 神護寺 |
| エ 『経国集』 | —— 教王護国寺 |
| オ 『顕戒論』 | —— 金剛峰寺 |
| カ 『文鏡秘府論』 | —— 神護寺 |

日本史

問10 下線部(f)に関連する内容として誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 両界曼荼羅など密教の世界観を表した曼荼羅が発達した。

イ 建築では、寺院の堂塔が山間の地において、以前の形式にとらわれない伽藍配置でつくられた。室生寺の金堂は、その代表である。

ウ 彫刻では、如意輪観音や不動明王など寄木造による仏像が多くつくられた。

エ 絵画では、園城寺の不動明王像(黄不動)など神秘的な仏画が描かれた。

C 撰闕時代の仏教は、天台・真言の2宗が圧倒的な勢力を持ち、祈禱を通じて^(g)現世利益を求める貴族と強く結びついた。また、現世の不安から逃れようとする浄土教も流行してきた。この信仰は、末法思想によっていっそう強められた。^(h)そして、浄土教の流行にともない、これに関係した建築・美術作品が⁽ⁱ⁾つくられ、国風文化が形成されていった。

院政期に入ると、貴族文化は新たに台頭してきた武士や庶民とその背後にあ^(j)る地方の文化を取り入れるようになり、仏教においても、寺院に所属しない聖や上人などと呼ばれた民間の布教者によって、浄土教の思想が全国に広がっていった。この時代に貴族や地方豪族が建立した建築物や文学、美術作品などが^(k)多く残されている。

鎌倉時代の仏教は、それまでの祈禱や学問中心のものから、内面的な深まりを持ちつつ、庶民など広い階層を対象とする新しいものへと大きく変化していった。この鎌倉新仏教に共通する特色は、旧仏教の腐敗を批判し、ただ^(l)選び取られた一つの道によってのみ救いにあずかることができると説き、広く武士や庶民にもその門戸を開いたところにある。文学の世界でも新しい動きが始まった。武士の家に生まれ、後に出家した西行は、歌集 (7) を残した。また、鴨長明による (8) には、当時の仏教的な無常観が反映されている。

問11 下線部(g)の時代に関連する出来事として誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 摂政・関白は、藤原氏の中で最高の地位にあるものとして、藤原氏の「氏長者」を兼ね、絶大な権力をふるった。

イ 藤原道長は、4人の娘を中宮(皇后)や皇太子妃とし、30年にわたって朝廷で権勢をふるった。

ウ 関白とは、天皇が幼少の時にその政務を代行する地位であり、藤原基経がはじめてその地位についた。

エ 藤原頼通は、50年にわたって3天皇の摂政・関白をつとめた。

問12 下線部(h)に関連する内容としてもっとも適切なものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 源信は、この説を用いて諸国を遍歴しながら、踊念仏による極楽往生の教えを広めた。

イ 空也は、災厄がしきりに起こった世情が、末法の世の姿にあてはまるとし、『日本往生極楽記』によって往生念仏を説いた。

ウ 怨霊や疫神をまつことで疫病や飢饉などの災厄から逃れようとする思想である。

エ 釈迦の死後、正法、像法の世をへて末法の世がくるとい説である。

問13 下線部(i)に関連する内容として誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 定朝による平等院鳳凰堂阿弥陀如来像は、のちの造仏の技法に大きな影響を与えた。

イ 高野山聖衆来迎図は、往生しようとする人を迎えるために仏が来臨する場面を描いている。

ウ 書では、唐風にかわって草書体の平仮名による和様の書風が好まれ、巨勢金岡が活躍した。

エ 藤原道長が建立した法成寺は、阿弥陀堂を中心とした大寺である。

日本史

問14 下線部(j)の時代に関連する出来事として誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 上級貴族に知行国主として一国の支配権を与え、その国からの収益を取得させる知行国の制度が広まった。

イ 後白河上皇は、民間の流行歌である今様による『今鏡』を編纂した。

ウ 上皇は、院中に院庁を開き、院宣や院庁下文を発し政務をおこなった。

エ 平治の乱は、後白河上皇の近臣間の対立から起こり、平清盛の地位と権力が急速に高まるきっかけとなった。

問15 下線部(k)に関連する作品として誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 『信貴山縁起絵巻』

イ 『宇治拾遺物語』

ウ 『大鏡』

エ 『平家納経』

問16 下線部(l)に関連する組み合わせとして誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 日蓮 - 法華信仰 - 『立正安国論』

イ 親鸞 - 悪人正機説 - 『教行信証』

ウ 道元 - 只管打坐 - 『愚管抄』

エ 法然 - 専修念仏 - 『選択本願念仏集』

問17 文中の と に入るもっとも適切な著作物の組み合わせを、以下のア～カから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 『山家集』 — 『方丈記』

イ 『沙石集』 — 『吾妻鏡』

ウ 『古今著聞集』 — 『源平盛衰記』

エ 『沙石集』 — 『方丈記』

オ 『古今著聞集』 — 『吾妻鏡』

カ 『山家集』 — 『源平盛衰記』

〔Ⅱ〕 近世の都市に関する次の文章A, B, Cを読み, 以下の問いに答えよ。

A 近世になると, 城下町・宿場町・門前町・港町・鉾山町など, 全国各地に中世とは比較にならないほど多くの都市が生まれた。その中心となったのが江戸をはじめとする城下町だった。城下町は, おおむね職種ごとに居住する地域が定められ, 城下町に集められた武士は, 城の周囲に配置された武家地に居住する一方, ^(a)商人や手工業者の多くは町人地に居住することが多かった。

^(b)17世紀後半, 各地の城下町や港町を結ぶ商品流通市場の要の位置にあったのが, 当時世界でも有数の人口を有する都市として発展した江戸・大坂・京都の三都^(c)だった。全国の商品流通は, 堺・京都・博多・長崎などを根拠地としたそれまでの豪商にかわり, 三都や城下町などを根拠とする が支配するようになった。^(d) は, 生産地の から商品を受託し, これを都市の に手数料(口銭)をとって卸売りするなどした。これら や のなかには, 独自の法を定めて, 営業権の独占をはかる者もあらわれた。

問1 下線部(a)に関連して, 武士が都市に集住することになった理由の一つに豊臣政権時代の兵農分離政策があった。豊臣政権時代におこなわれた兵農分離政策として正しいものを, 以下のア～オから二つ選び, その記号を解答欄にマークせよ。

ア 楽市令

イ 刀狩令

ウ 服忌令

エ 人掃令

オ 惣無事令

日本史

問2 下線部(b)に関連して、幕府や大名が、都市に積極的に商工業者を集めるためにとることのあった措置として正しいものを、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 地子の免除
- イ 町人足と呼ばれる夫役の免除
- ウ 仲間・組合・講など同業者集団の組織化
- エ 複数の町を集めた町組の組織化
- オ 撰銭令の発布

問3 下線部(c)に関連して、以下の問いに答えよ。

① 三都のうち18世紀前半の江戸における推定人口(武家や寺社の人口を含める)にもっとも近いものを、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 50万人
- イ 70万人
- ウ 100万人
- エ 170万人
- オ 200万人

② 当時江戸幕府が、三都のなかの京都に、朝廷・公家・寺社の統制や西国大名の監視などにあたらせるためにおいていた役職として正しいものを、以下のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 京都守護
- イ 京都守護職
- ウ 京都町奉行
- エ 京都大番役
- オ 京都所司代

問4 下線部(d)に関連して、近世初期に活躍した豪商のうち、京都を根拠地とした人物として正しいものを、以下のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 角倉了以
- イ 山田長政
- ウ 高三隆達
- エ 末吉孫左衛門
- オ 茶屋四郎次郎

問5 文中の (1) と (2) に入るもっとも適切な語句を、以下のア～オからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 小売 イ 仲買 ウ 札差 エ 問屋 オ 振売

B 江戸幕府は、全国支配をかためるため、各地の城下町をつなぐ全国的な街道網を整備した。そのうち三都を結ぶ東海道をはじめとした五街道は幕府直轄とし、17世紀半ば以降は (3) によって管理された。また、脇街道と呼ばれる主要な道路も含め、要所に宿場(宿駅)を置き、街道筋には一里塚、渡船場、^(e)関所などの施設を整えた。城下町以外におかれた宿場のなかには、宿場町として^(f)小都市的なにぎわいをみせたところも多くあった。

近世中期になると、幕府・大名の物資だけでなく、商人の荷物の運送にも陸上交通^(g)が利用される一方で、大量の物資を安価に運ぶ際には水上交通が利用された。なかでも海上交通に注目すると、17世紀前半に、(4) が運送を開始し、木綿や油など多様な荷物を輸送していたが、18世紀前半に、酒荷専用から出発した (5) が運送を開始すると、(4) との間で紛争が生じることもあった。また、17世紀後半になり、東北地方の日本海沿岸を起点とし江戸に至る東廻り航路・西廻り航路のルートが整備^(h)されると、これら海運ルートの中継地点に港町が発達した。

問6 文中の (3) に入るもっとも適切な語句を、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 郡代 イ 郡奉行 ウ 道中奉行
エ 遠国奉行 オ 代官

問7 下線部(e)に設けられた施設として正しいものを、以下のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 本陣 イ 御料所 ウ 記録所 エ 問屋場 オ 商場

日本史

問8 下線部(f)に関連して、五街道のうち甲州道中に置かれた関所の場所として正しいものを、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 碓氷 イ 小仏 ウ 新居 エ 栗橋 オ 木曾福島

問9 下線部(g)に関連して、陸上交通の整備にともないみられたこととして誤っているものを、以下のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 遠隔地を結ぶ人の輸送手段として馬車が発達した。
イ 交通手段として駕籠や大八車などが用いられた。
ウ 大名のなかには、江戸と国元の間の通信のため飛脚をおく者もいた。
エ 一般の庶民も寺社詣などの旅をする際、街道を利用した。
オ 御用通行の際に使用される人馬は、一般の二倍程度の賃銭で徴発された。

問10 文中の と に入るもっとも適切な語句を、以下のア～オからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 内海船 イ 北前船 ウ 高瀬船
エ 樽廻船 オ 菱垣廻船

問11 下線部(h)に関連して、東廻り航路・西廻り航路を整備した人物として正しいものを、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 末次平蔵 イ 河村瑞賢(瑞軒) ウ 田中勝介
エ 最上徳内 オ 奈良屋茂左衛門

C 18世紀後半になると、城下町の性格は大きくかわっていくことになった。とくに町人地では、家持が減少する一方で、町場の場末などに農村部から流入してきた人びとや、雑業に従事する貧しい民衆が多く居住するよう⁽ⁱ⁾にもなった。これら零細な都市民衆は、棟割長屋などに住み、わずかな貨幣収入で暮らしを支えた。また、打ちこわしもしばしば発生した。1733年に、江戸で有力な が打ちこわしを受けたことが知られているが、1787年にも、江戸や大坂など主要都市で打ちこわしがあいつぎ、幕府は危機感を募らせることになった。

近世における様々な幕政改革の中でも、江戸の都市政策にとくに熱心に取り組んだのが寛政期の松平定信だった。定信は、両替商を中心とする豪商を幕府に登用し、その力を利用するとともに、江戸の治安問題をはじめとした様々な改革を進めたが、厳しい統制や倹約の強制は人びとの反発も招いた。

問12 下線部(i)に関連して、当時、とくに関東において農民が耕作を放棄して江戸に流入した背景の一つとして飢饉の発生を挙げることができる。近世においては、とりわけ大きな飢饉に見舞われるたびに百姓一揆も激増したが、一揆自体は近世以前よりみられ、その形態は時代とともに変化してきた。中世から近世にかけてみられた次の一揆X～Zについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、以下のア～カから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- X 陸奥磐城平藩の領民が、領主の施政に対して大規模な強訴をおこなった。
 Y 近江坂本の馬借たちが徳政を要求したのをきっかけに、京都近郊の民衆もそれにくわり、酒屋や寺院などをおそった。
 Z 下総佐倉の名主だった佐倉惣五郎が領主の苛政を将軍に直訴した。

- ア X-Y-Z イ X-Z-Y ウ Y-X-Z
 エ Y-Z-X オ Z-X-Y カ Z-Y-X

問13 文中の (6) に入るもっとも適切な語句を、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 土倉 イ 町名主 ウ 米問屋 エ 蔵屋敷 オ 借上

問14 下線部(j)に関連して、幕府に登用されたこれら豪商たちの名称として正しいものを、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 十人両替 イ 十組問屋 ウ 年行司
 エ 勘定所御用達 オ 勘定吟味役

日本史

問15 下線部(k)に関連して、松平定信が進めた改革として誤っているものを、以下のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 米穀を供出させて蓄えさせることで飢饉に備えた。
- イ 江戸に流入した貧民の帰農を奨励する人返しの法を出した。
- ウ 人足寄場を設けて無宿人を收容し、職をもたせようと試みた。
- エ 町々に町費の節約額のうち7割を積み立てさせた。
- オ 江戸に200軒以上あった寄席を15軒に減らした。

問16 下線部(1)に関連して、江戸時代の人びとには、幕政を批判することは認められていなかったが、しばしば狂歌や川柳をつかって政治を批判することがあった。松平定信が進めた改革を批判する趣旨で詠まれたものを、以下のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 白河の岸打波に引換て 浜松風の音の烈しさ
- イ 白河の清きに魚のすみかねて もとの濁りの田沼こひしき
- ウ 上げ米といへ上米は気に入らず 金納ならばしじうくろふぞ
- エ 世の中に蚊ほどうるさきものはなし ぶんぶといふて夜もねられず
- オ 浅間しや富士より高き米相場 火の降る江戸に砂の降るとは

〔Ⅲ〕 次の文章A、Bを読み、以下の問いに答えよ。

A 1875年に公布された新聞紙条例には、騒乱の扇動や国家転覆の言論が処罰対象として明示され、政府を批判する記者の取り締まりが格段に強化された。同条例第十二条では「新聞紙若クハ雑誌雜報ニ於テ、人ヲ教唆シテ罪ヲ犯サシメタル者ハ犯ス者ト同罪……(後略)」, 同条例第十三条では「政府ヲ変壞シ国家ヲ顛覆スルノ論ヲ載セ、騒乱ヲ煽起セントスル者ハ、禁獄一年以上三年ニ致ル迄ヲ科ス、其实犯ニ致ル者ハ首犯ト同ク論ス」とある。この法令はその後、改定されて重罰化が進み、自由民権運動を抑圧する根拠となった。

新聞紙条例とともに、人の名誉を侵害する行為を暴き広めようとする者や、人の行為に悪口を投げつけ広めようとする者を処罰する法令である (1) も公布された。これらの法令が公布された背景には、明治政府への批判が大きくなってきたことがあげられる。1874年、(あ) らが民撰議院設立の建白書^(a)を提出し、その内容が『日新真事誌』に掲載され、翌75年に大阪で民権派の全国組織をめざす (い) が設立された。

これらの法律に続き、1880年には、国会期成同盟による国会開設の請願の動きが広まったことから、政社の活動^(b)を制限する (2) が定められた。1887年には、三大事件建白運動^(c)が起きた。同年末には (3) が公布され、多くの在京の民権派が東京から追放された。1889年2月、大日本帝国憲法^(d)が発布された。これは政府が国民にいつさいはからずに制定した欽定憲法だった。

問1 文中の (1) ~ (3) に入るもっとも適切な語句を、以下のア〜キからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|---------|--------|---------|-------|
| ア 治罪法 | イ 集会条例 | ウ 治安警察法 | エ 讒謗律 |
| オ 治安維持法 | カ 保安条例 | キ 戒厳令 | |

日本史

問2 文中の に入るもっとも適切な人物を、以下のア～クから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|--------|---------|
| ア 福地源一郎 | イ 大隈重信 | ウ 大久保利通 |
| エ 板垣退助 | オ 木戸孝允 | カ 後藤象二郎 |
| キ 植木枝盛 | ク 中江兆民 | |

問3 文中の に入るもっとも適切な語句を、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-------|--------|-------|
| ア 自由党 | イ 愛国公党 | ウ 敬神党 |
| エ 立志社 | オ 愛国社 | |

問4 下線部(a)に関連する記述として正しいものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア この建白書は、征韓論に反対する人びとが作成した。
- イ この建白書が提出されたことで、自由民権運動が広まった。
- ウ この建白書では、官僚主導で政治を推進することが主張された。
- エ この建白書は、元老院に提出された。

問5 下線部(b)に関連する記述として誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 国会期成同盟には各地の政社が参加していた。
- イ 国会期成同盟は請願書を太政官や元老院に提出しようとした。
- ウ 国会期成同盟の請願書は政府によって受理された。
- エ この動きがあった時期に、さまざまな私擬憲法が作成された。

問6 下線部(c)に関連する記述として正しいものを、以下のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア この運動は、井上馨外相の条約改定交渉の失敗によって起きた。
- イ この運動のなかで、旧自由党系と立憲改進黨系の対立が激化した。
- ウ 三大事件とは、地租の軽減、華族令の撤廃、外交失策の回復の3つである。
- エ 三大事件とは、地租の軽減、言論・集会の自由、外交失策の回復の3つである。
- オ この運動は、東北地方でいち早く下火になった。

問7 下線部(d)に関連して、以下の問いに答えよ。

① 下線部(d)に関連する記述として誤っているものを、以下のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 衆議院に予算先議権があった。
- イ 日本国民は法律の範囲内で、信教の自由、言論・出版・集会・結社の自由を認められていた。
- ウ 文武官の任免に、議会は関与できた。
- エ 宣戦・講和や条約締結に、議会は関与できた。
- オ 陸海軍の統帥権は、議会からも内閣からも独立して天皇に直属していた。

② 下線部(d)の草案作成の助言をした人物として正しいものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ベルツ イ モース ウ ロエスレル エ クルムス

③ 下線部(d)の草案が審議された機関として正しいものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 貴族院 イ 衆議院 ウ 枢密院 エ 大審院

日本史

B 1873年、国民皆兵を原則とする徴兵令が公布された。これは、満 歳に達した男性から選抜して 年間の兵役につかせるものだったが、官吏や学生、戸主とその跡継ぎなどが免除されていた。この法令などによる負担増加に対し、各地で農民たちが反対の声をあげ、血税一揆が起きた。1882年には が発布され、軍人の忠節が強調され、軍人の政治関与がいましめられた。

一方、学校教育については、1886年に のもとで小学校令・中学校令・師範学校令・帝国大学令などの学校令が公布された。また、1890年には が発布され、学校教育の基本は忠君愛国であることが強調された。^(e) さらに、1903年に小学校の教科書が国定教科書となり、国家による教育への統制が強化された。明治の末には就学率が 割を超えた。 は、1948年に国会決議で失効を確認するまで、日本の国民教育の大原則となっただけでなく、思想や宗教の自由を制約するものとなった。

明治の末までに多くの雑誌や新聞が創刊された。度重なる戦争と識字率の向上などを背景に、マスメディアは国民生活に浸透していった。しかし、様々な法律によって自由な思想の交流が制限され、流通する情報の偏りも大きくなっていった。^(f)

問8 文中の ～ に入るもっとも適切な数字を、以下のア～ケからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1 イ 2 ウ 3 エ 5 オ 7
カ 9 キ 18 ク 20 ケ 22

問9 文中の ～ に入るもっとも適切なものを、以下のア～ケからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 徴兵告諭 イ 大教宣布 ウ 軍人勅諭
エ 教育勅語 オ 教育基本法 カ 学制
キ 伊藤博文 ク 森有礼 ケ 井上毅

問10 下線部(e)の出来事として正しいものを、以下のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-------------|-------------|
| ア 大津事件 | イ 第一次帝国議会開会 |
| ウ 日比谷焼き討ち事件 | エ 府県制・郡制の公布 |
| オ 市制・町村制の公布 | |

問11 下線部(f)に関連して、以下の問いに答えよ。

① 明治時代に創刊された雑誌名とその創刊に関わった人物の組み合わせとして誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|----|--------|
| ア 『国民之友』 | —— | 三宅雪嶺 |
| イ 『明星』 | —— | 与謝野鉄幹 |
| ウ 『青鞜』 | —— | 平塚らいてう |
| エ 『ホトトギス』 | —— | 正岡子規 |

② 明治末以降のマスメディアの動向に関する記述として誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 大正末期には、いくつかの系列新聞社ごとの合計発行部数が100万部をこえた。
- イ 1925年にテレビ放送が始まり、30年代初頭には契約者数が100万人をこえた。
- ウ 昭和にはいると、大衆娯楽誌『キング』の発行部数が100万部をこえた。
- エ 1930年代にはいると、有声映画の製作が始まった。